

2 県立病院事業概況

平成 19 年度の事業の概要は次のとおりである。

(1) 診療状況

平成 19 年度に県立病院で診療を行った患者数は、廃止・移譲した 3 病院 1 診療所を除いた 6 病院の患者数の比較で、入院が延べ 201,940 人で前年度と比較して 12,339 人(5.8%)減少し、外来は延べ 333,187 人で前年度と比較して 13,481 人(3.9%)減少している。

病院別に見ると、入院では、矢吹病院、南会津病院を除く 4 病院で減少している。また、外来では矢吹病院、大野病院を除く 4 病院で減少している。

次に、診療科別に見ると、入院では精神科、皮膚科、小児科で増加し、内科外 6 診療科で減少している。また、外来では小児科、皮膚科で増加し、内科外 8 診療科で減少している。

(2) 施設設備の整備

ア 矢吹病院のトイレ改修工事外 3 病院の庁舎等改修工事を行った。

イ 全身用コンピュータ断層撮影装置(大野病院)、ICUモニタリングシステム(会津総合病院)、眼科用手術顕微鏡システム(会津総合病院)、セントラルモニター(南会津病院)等の医療機器の購入整備を行った。

(3) 収支状況

平成 19 年度における総収益は 12,613,929 千円で、前年度と比較して 2,869,731 千円(18.5%)の減少となっている。一方、総費用は 14,568,561 千円で、前年度と比較して 3,191,972 千円(18.0%)減少している。これは、平成 18 年度末で廃止・移譲した 3 病院 1 診療所(リハビリテーション飯坂温泉病院、三春病院、猪苗代病院及び本宮診療所)にかかる収益、費用が減少したことなどによるものであり、この結果、差引純損失は 1,954,632 千円となり、前年度と比較して 322,241 千円(14.2%)減少している。

また、医業収益から医業費用を差し引いた医業損益は 4,734,451 千円となり、損失額は前年度と比較して 969,147 千円(17.0%)減少している。この結果、総収益対総費用比率は 86.6%、医業収益対医業費用比率は 65.7%となっている。

主な費用について見ると、給与費は 8,255,218 千円で前年度と比較して 1,370,681 千円(14.2%)減少したが、これは 3 病院 1 診療所の廃止・移譲に伴い職員数が減少したことなどによるもので医業収益に対する割合では 91.0%となり、前年度より 2.4 ポイント増加している。また、薬品費等の医療材料費については 2,166,666 千円で、3 病院 1 診療所の廃止・移譲や南会津、大野病院での院外書による費用の減少などにより、前年度と比較して 867,038 千円(28.6%)減少し、医業収益に対する割合も 23.9%と前年度より 4.0 ポイント減少している。

累積欠損金は、前年度より 1,954,632 千円増加して 20,180,696 千円となり、医業収益に対する累積欠損金比率は 222.4%と前年度に比較して 54.7 ポイント増加している。

なお、一般会計から負担金・補助金として繰り入れた額は、収益的収入 4,124,272 千円、資本的収入 1,161,036 千円で合計 5,285,308 千円となっており、前年度と比較して 1,148,583 千円(17.9%)減少している。